

修了生からの
お便り



第二の青春！

充実の2年間



この世の中に、こんなにも不思議で興味深いことがあったとは！

まさに課題を追究する面白さを実感した当大学院での2年間、その後の教員としての在り方や考え方、生き方に大きな影響を受けた2年間でした。今でも派遣やお世話になった先生方に感謝し、先生方や共に学んだ院生、学生の皆さんは私の一生の宝です。

私は当時の自然系理科コースで「地学教室」の天野和孝先生（前副学長）の古生物学ゼミに所属しました。当時の地学教室は、この度瑞宝重光章叙勲の栄に輝いた元上越教育大学学長の渡邊隆先生のもと、多数の院生・学生が所属していました。卒業論文・修士論文発表会は大変な盛会で、厳しい質問が飛び交い、随分鍛えられました。

修士論文では、日本海が開き、および日本列島が形造られてからの第四紀の地層を中心に「岩石穿孔性二枚貝」という岩に穴を掘る貝とその巣穴の化石を調べていました。物言わぬ貝化石からひも解く日本海の変遷や貝類の存亡!? やればやるほど面白く、興味が広がり、息子の世話もそこそこに、化石ばかりか現生の貝も探し求め、ハンマー片手に海に潜っていた始末。こんな調子ですから、指導の天野先生には大変

ご苦労をお掛けしました。

まさに第二の青春！ 充実の2年間でした。大学院での学びの成果は、職種が変わろうとも生き続けています。

院生・学生の皆様には、二度とないこの時を大切に、様々な経験を積み、自らの目的達成にご尽力ください。また、現職の意志ある教職員の皆様には、ぜひ当大学院の修学をお勧めします。私の経験から教職を経験してからの自らの課題解決の道のりは、その後生きる得難い財産となります。

修了生の一人として、地元の一小学校長として、いつも応援したい思いでいっぱいです。



品田 やよい
(しなだ やよい)

新潟県上越市出身。平成6年3月修了後、にしき養護学校教諭を経て、上越地区理科教育センター専任所員に。その後、新井市立吉木小学校教諭、

柏崎市立中通小学校及び新井市立新井北小学校教頭、柏崎市立石地小学校校長、柏崎市教育委員会・指導兼管理主事、上越教育事務所・指導主事を務め、現在、上越市立清里小学校に校長として勤務。心の教育を中心に据えた清里小中学校の一貫教育を進めている。